

卒業演習(日本史7)－Ⅱ

科目ナンバリング SEM-414
選択必修 2単位

小山 俊樹

1. 授業の概要(ねらい)

本授業では、日本の近代史・現代史に関わる史料の読解、および同時期を扱った学術論文、研究テーマの内容、基本史料などについて、受講者が報告を行い、参加者全員で討論する。

2. 授業の到達目標

歴史学習上の基本的知識を得るとともに、学術論文の書式を学び、文献・史料の探索や読解などの歴史学の基本的方法を身につけること。また先行研究をふまえて、自分なりの疑問や課題を発見し、将来的に論文を執筆するための訓練をすること。

3. 成績評価の方法および基準

担当した報告の内容はもちろん、発言・活動の積極性、レポート課題提出物などの日常点を重視する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

中尾堯ほか 日本史論文の書きかた 吉川弘文館
歴史科学協議会 卒業論文を書く 山川出版社

5. 準備学修の内容

授業時間での議論のため、時間外での自主学習に重点が置かれる。文献・史料の調査、論文の読解、研究史の整理など、十分な準備を求めるものとする。

6. その他履修上の注意事項

受講生が主体となる授業なので、無断で欠席をしないこと。原則として「演習7C－Ⅱ」を継続して履修すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス。授業内容や進行について、教員より説明する。
- 【第2回】 自由論文報告(日本近現代史にかかわる論文を、受講者の手で選択・紹介し、内容を議論する)(1)
- 【第3回】 自由論文報告(2)
- 【第4回】 自由論文報告(3)
- 【第5回】 自由論文報告(4)
- 【第6回】 自由論文報告(5)
- 【第7回】 自由論文報告(6)
- 【第8回】 自由論文報告(7)
- 【第9回】 自由論文報告(8)
- 【第10回】 自由論文報告(9)
- 【第11回】 自由論文報告(10)
- 【第12回】 自由テーマ報告(各自が構想する研究テーマを、文献や研究史などをふまえて発表し、内容を議論する)(1)
- 【第13回】 自由テーマ報告(2)
- 【第14回】 自由テーマ報告(3)
- 【第15回】 自由テーマ報告(4)